

# BRAVE KINGS

## 悲願のリーグ初優勝



第43回日本ハンドボールリーグで念願の初優勝を手にした、刈谷市ホームタウンパートナーのトヨタ車体ブレイヴキングス。ここ数年2位という悔しい結果が続いていましたが、その悔しさをバネに臨んだ2018年のリーグで、激戦の末手にした優勝にチーム全員が歓喜しました。



### 【試合結果】

#### ●レギュラーシーズン

18勝1分5敗（3位）

#### ●プレーオフ

大崎電気	27-23	Winner
豊田合成	26-25	
トヨタ車体	28-25	
大同特殊鋼		



チームにいる日本代表選手7人が不在の状況もあった、レギュラーシーズン。シーズン中盤までに敗戦が重なり苦しい状況が続きました。しかし、シーズン終盤は調子を上げ、最後は8連勝し3位でレギュラーシーズンを終えました。

レギュラーシーズン上位4チームのトーナメント戦となるプレーオフ。2試合目の豊田合成との1戦で、プレーオフ一番の苦戦を強いられます。序盤からリズムをつかまれるゲーム展開となり、12対15で試合を折り返します。しかし、後半からは強みであるディフェンスが力を発揮し、ゴールを死守。リズムを取り戻したチームはじりじりと点差を縮め、最後は逆転勝利しました。

チーム全員が「練習してきたことを徹底してやり続ければ結果はついてくる」という思いで、臨んだ決勝戦。途中、相手の変則的なディフェンスに対応できず2点差まで縮まる場面もありましたが、積極的にシュートを狙いリードを守ります。試合終盤にはキーパーの好セーブもあり、最後は4点差で勝利し、見事リーグ優勝を勝ち取りました。

### 香川将之監督



**優勝が決まった時の気持ち** とにかくホッとしました。今年こそというプレッシャーもあったので。応援してくれた皆さんの顔がまず浮かびました。

**今後の目標** もちろん2連覇。勝つべくして勝つチームとなれるよう、習熟度を上げていきたいです。また、新しいことにもチャレンジする変化の年にしていきたいと思います。

**市民の皆さんへメッセージ** 試合中の体が当たる時の音、その激しさやスピード感を感じに、ぜひ試合会場に来てください。

